

第1回情報化推進懇談会



令和3年11月19日

目次

1 情報化推進懇談会の概要

2 第4期情報化推進計画の見直しの方向性

3 第4期情報化推進計画の進捗状況

1 情報化推進懇談会の概要

(1) 情報化推進懇談会の目的・概要

吹田市情報化推進懇談会の目的

吹田市情報化推進懇談会は、吹田市情報化推進計画の策定、見直し及び進捗管理について、幅広い観点から意見を求めることを目的とする。

吹田市情報化推進懇談会の概要

第1回 情報化推進懇談会

第4期情報化推進計画の進捗状況を報告し、計画の中間見直しについて、意見聴取を行います。

第2回 情報化推進懇談会

第1回情報化推進懇談会で意見聴取した内容等をもとに策定した第4期情報化推進計画の中間見直し案に対して、意見聴取を行います。

情報化推進懇談会は、従来、対面式の開催としてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、リモート会議を主体とした新たな生活様式に対応したスタイルで開催します。

(2) 情報化推進計画の目的・経緯

吹田市情報化推進計画の目的

吹田市情報化推進計画は、本市総合計画を実現するための情報化に関する計画である。

市民の利便性向上・行政運営の効率化に重点を置き、行政運営をデジタル前提で見直すデジタル・ガバメントの実現や官民データの利活用について、明確かつ具体的な計画を策定する。

本計画の目的は、「基本理念」及び「基本方針」に則った「アクションプラン」を個別に策定することで、より詳細な達成目標や評価指標を定め、適正なPDCAサイクルによって確実な目標の達成を行うことである。

吹田市情報化推進計画の経緯

【経緯】

吹田市第1期情報化推進計画 平成10年度（1998年度）～

吹田市第2期情報化推進計画 平成21年度（2009年度）～

吹田市第3期情報化推進計画 平成26年度（2014年度）～

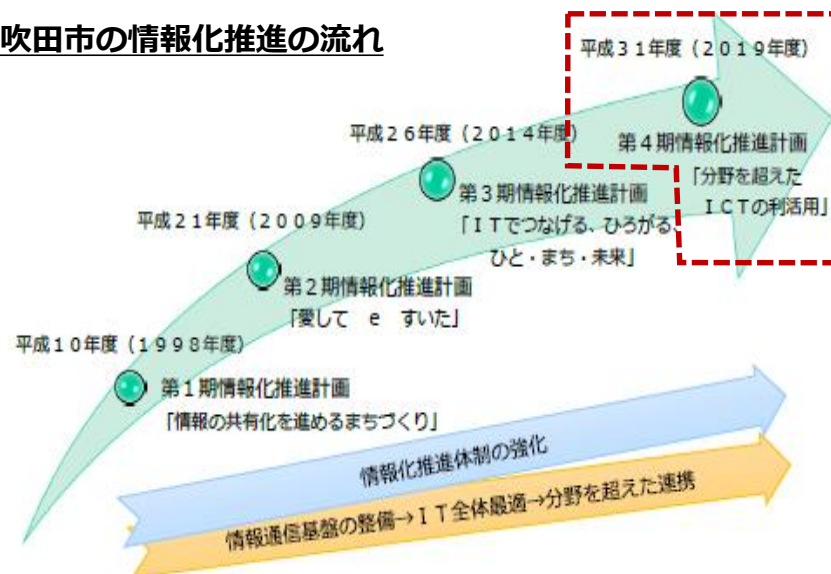
【現在】

吹田市第4期情報化推進計画

令和元年度（2019年度）～令和5年度（2023年度）

中間年にあたる本年度において中間見直しを行う。

吹田市の情報化推進の流れ



(3) 第4期情報化推進計画の概要

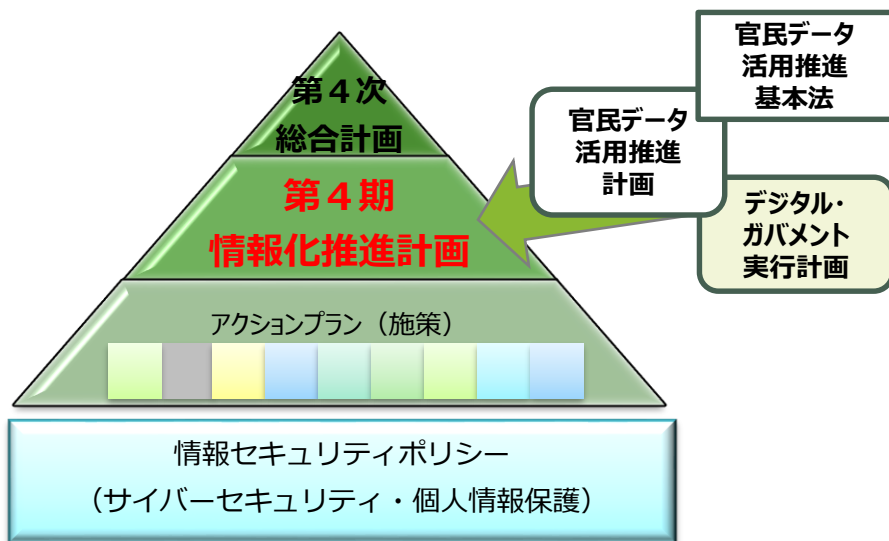
基本理念

分野を超えたICTの利活用

少子高齢化に伴う税収入の減少、社会保障関係経費の増加、公共施設の老朽化が見込まれる等の行政資源に限りがある中で、効果的で効率的な行政運営を進め、多様化する市民ニーズに応じていくことが望まれています。

分野を超えた I C T の利活用を行うことで、庁内一体となったあらゆる業務改革を起こし、なお一層の行政資源の効果的活用が進められる行政運営を行います。また、進化する I C T を使いこなし、分野にとらわれず市民にとって安心・便利な I C T の利活用を進めていきます。

第4期情報化推進計画の位置づけ



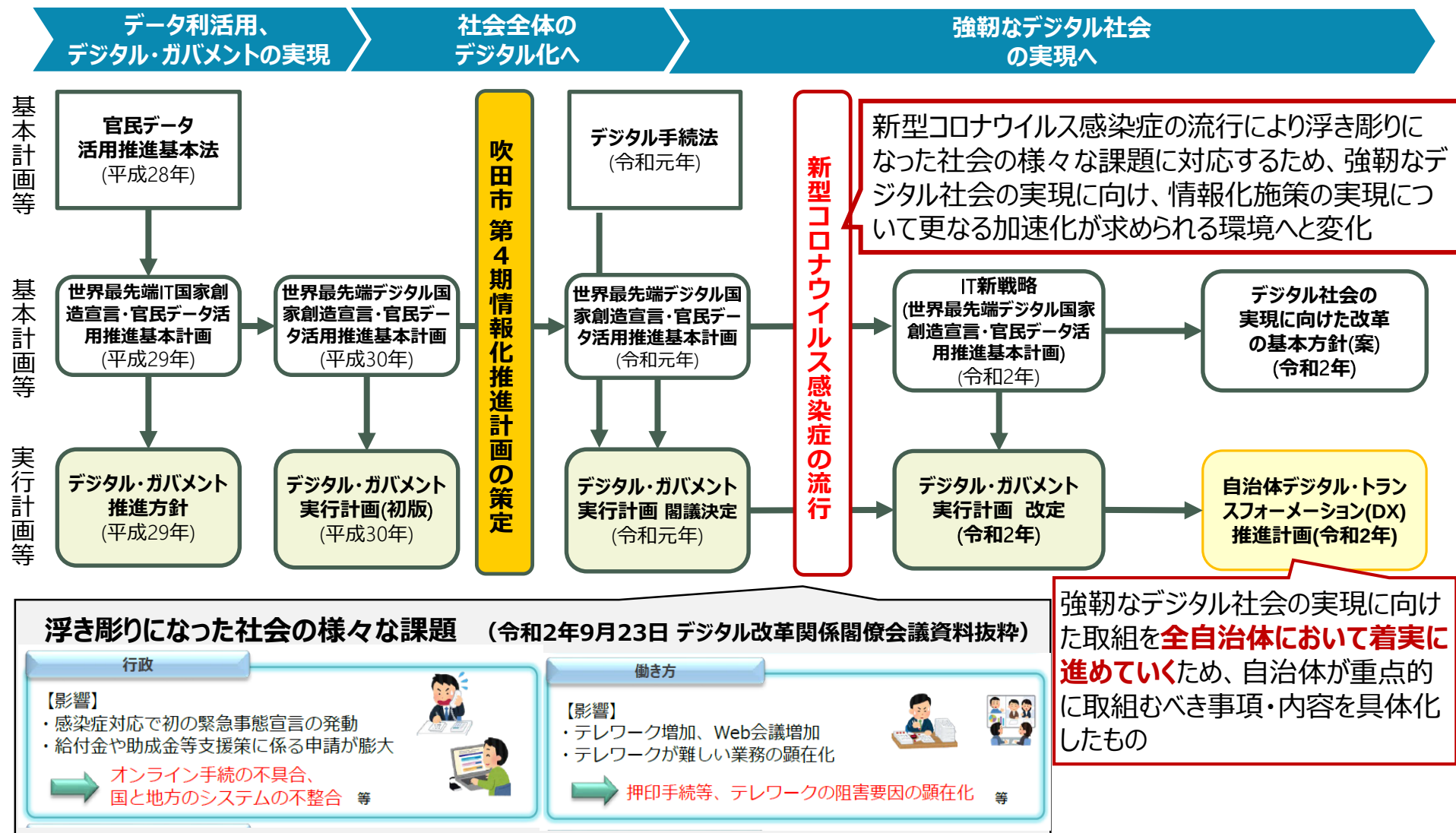
吹田市第4期情報化推進計画は、「吹田市第4次総合計画」に掲げる将来像の実現を目指し、情報化の側面から各行政分野の施策の方向性や方針を示し、支援していく個別計画として位置付け、「行政資源の効果的活用」を推進するために、「I C T の利活用」に関する具体的な取組を進めていきます。

本計画は、「官民データ活用推進基本法」第9条第3項に基づき、市町村の努力義務として策定する「官民データ活用推進計画」も兼ねています。



2 第4期情報化推進計画の見直しの方向性

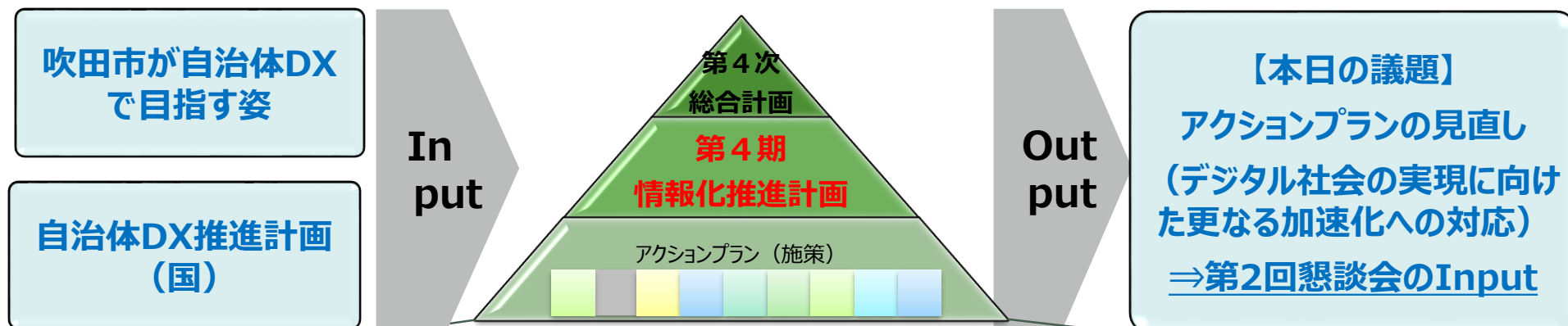
(1) 第4期情報化推進計画策定後の環境変化



出所：総務省「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」、首相官邸「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」

(2) 吹田市におけるデジタル社会の実現に向けた対応

強靱なデジタル社会の実現に向けた対応として、吹田市が自治体DXで目指す姿と取組の明確化、及び第4期情報化推進計画で関連するアクションプランの前倒しの実行及び更なる加速化に向けた見直し検討を行っています。



基本方針	取組	アクションプラン
市民のためのサービスデザイン	手続	①手続の電子化、②コンビニエンスストア等での証明発行の拡充、③納税者の利便性向上、④Web施設予約システムの導入
	情報発信	⑤ホームページ等における情報発信の充実、⑥オープンデータの推進と地図情報の活用
市民を守るICT	福祉・健康	⑦介護保険事務の総合的な見直しとシステムの再構築、⑧健康増進支援のためのシステム導入、⑨情報共有できるシステム導入
	子育て・学び	⑩図書館資料の電子化、⑪入園事務支援のためのシステム再構築、⑫小中学校のICT環境の充実
業務改善を支えるICT	防災・防犯	⑬施設のICT環境の充実、⑭災害時の情報収集の強化、⑮街頭防犯カメラの多目的利用の推進
	内部事務最適化	⑯会議の効率化、⑰文書管理事務等の電子化と効率化、⑱庁内ネットワークの無線化、⑲最新技術の活用と調査研究、⑳情報セキュリティの強化

(3) 吹田市が自治体DXで目指す姿

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画

- 行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性向上を図る。
- デジタル技術やA I等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上に繋げていく。

吹田市としても、これまでR P Aや各種A I技術の導入等、業務プロセス改善やI C T化の取組を着実に進めてきたが、今般のコロナ禍をきっかけとして、手続の電子化やキャッシュレス等、D X推進への期待がこれまでになく高まってきている。

- 吹田市がDXで目指す姿を明確化するとともに、DXの推進体制及び大枠の工程を示すために、令和3年6月に全庁的な方向性を確認した。

吹田市が自治体DXで目指す姿

① ペーパーレスな市役所

- 押印廃止、電子申請システムとマイナンバーカード活用により「自宅から申請・相談」「24時間365日のサービス提供」
- 来庁が必要な手続もI C T化で「待ち時間短縮」「ワンストップ（何度も名前等を書かなくてよい）」の実現
- オンライン申請から内部事務まで「一気通貫のデータ連携」
- 紙の帳票・台帳のデジタル化

② キャッシュレスな市役所

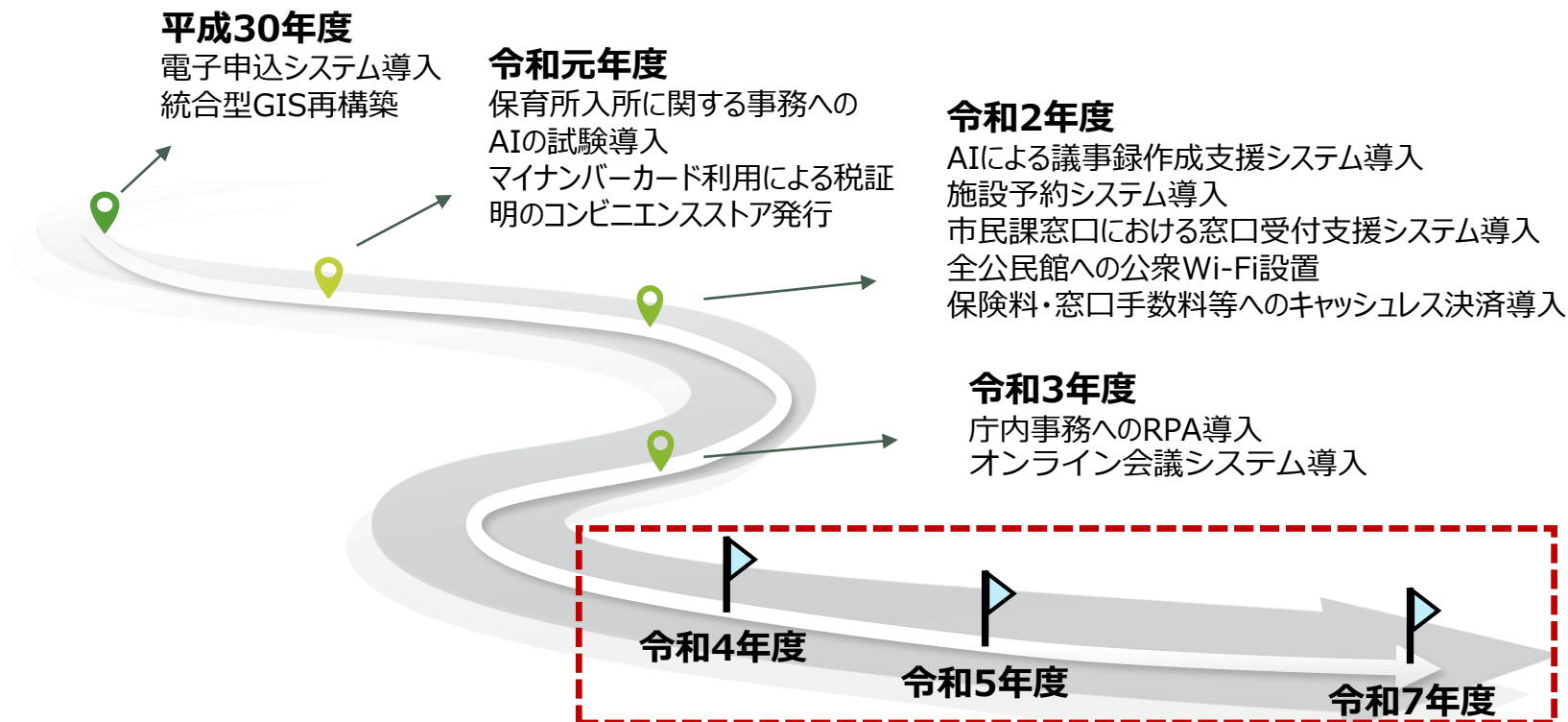
- 電子マネー・クレジットカード等の活用による「支払方法の多様化」「入金事務の簡素化」

③ サステイナブルな市役所

- A IやR P A、テレワークやW e b会議で「業務効率化」「多様な働き方」
- 硬直化したシステムや業務の見直し、データの標準化で「柔軟性向上」

(4) 吹田市が自治体DXで目指す姿に向けた取組

これまでの取組と今後の取組



今後の主な取組

令和4年度までに、原則、全ての使用料・手数料等でキャッシュレスを導入。
令和5年度までに、原則、全ての手続（申請・予約等）を電子化。
令和7年度までに、住民記録、地方税、福祉など、主要な17業務をクラウド化。

(5) 【本日の議題】アクションプランの見直し

第4期情報化推進計画の見直しの方向性としては、自治体DX推進計画の重点取組項目に対応するアクションプランについて、重点的に更なる加速化に向けた見直しを行う方針です。

自治体DX推進計画重点取組項目の対応施策(赤字)について、加速化に向けた見直し検討中。

第4期情報化推進計画	取組テーマ・アクションプラン	手続	① 手続の電子化 、②コンビニエンスストア等での証明発行の拡充、③納税者の利便性向上、④Web施設予約システムの導入
		情報発信	⑤ホームページ等における情報発信の充実、⑥オープンデータの推進と地図情報の活用
		福祉・健康	⑦介護保険事務の総合的な見直しとシステムの再構築、⑧健康増進支援のためのシステム導入、⑨情報共有できるシステム導入
		子育て・学び	⑩図書館資料の電子化、⑪入園事務支援のためのシステム再構築、⑫小中学校のICT環境の充実
		防災・防犯	⑬施設のICT環境の充実、⑭災害時の情報収集の強化、⑮街頭防犯カメラの多目的利用の推進
		内部事務最適化	⑯ 会議の効率化 、⑰ 文書管理事務等の電子化と効率化 、⑱庁内ネットワークの無線化、⑲ 最新技術の活用と調査研究 、⑳ 情報セキュリティの強化

第4期情報化推進計画の施策の一部は、吹田市自治体DXの実現の役割も担う

吹田市自治体DX	目指す姿	①. ペーパーレスな市役所
		②. キャッシュレスな市役所
		③. サステイナブルな市役所

自治体DX推進計画 重点取組項目

自治体の行政手続のオンライン化
(関連するアクションプラン ①)

マイナンバーカードの普及促進
(関連するアクションプラン ①)

自治体の情報システムの標準化・
共通化Gov-Cloud (追加予定)

自治体のAI・RPAの利用推進
(関連するアクションプラン ⑲)

テレワークの推進
(関連するアクションプラン ⑯⑰)

セキュリティ対策の徹底
(関連するアクションプラン ⑳)

自治体におけるDXの推進体制の
構築 デジタル人材の確保・育成
(関連するアクションプラン ⑳)

3 第4期情報化推進計画の進捗状況

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（1/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
手続きの 利便性 向上	① 手続きの電子化	電子申込 システム利 用率(%)	目標 20.0% 実績 32.80%	水道使用開始申込や集団がん検診申込などを中心に電子申請が利用されている。令和2年度時点の目標は達成しているが、コロナ禍のなか「新しい生活様式」への対応に向け、行政手続オンライン化の更なる拡大を目指す。 令和2年度 電子申請可能手続数：271手続 電子申込件数：20,816件 申込総数：63,457件
	② コンビニエンスストア等での証明発行の拡充	課税証明書コンビニ発行割合(%)	目標 650件 (0.9%) 実績 1,730件 (4.04%)	令和2年5月にコンビニエンスストア等での課税証明書の発行を開始。 マイナンバーカードの普及、及び利用案内チラシの配布による周知活動により、証明発行数は令和2年度時点の目標を達成している。今後も更なる普及に向けて、市民への周知活動を継続する。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（2/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
手続きの 利便性 向上	③ 納税者の利便性 向上	電子納税 件数 (件)	目標 36,000 件 実績 11,584 件	地方税共通納税システムが令和元年10月に稼働を開始。令和元年度は、納税者への周知不足により利用が低迷したが、令和2年度は当初通知、給与報告書や催促状にチラシを同封したことにより、件数が大幅に増加し、地方税共通納税システムの吹田市の利用率は全国平均と同様に1割に満たない状況となっている。地方税共通納税システムについては、QRコードへの対応など利便性向上が予定されており、周知活動を継続し、更なる利用率向上を目指す。 令和元年度：1,267件
	④ Web施設予約 システムの導入	施設稼働 率の上昇 率(%)	目標 10.0% 実績 ▲16.68 %	新型コロナウイルス感染症の影響による施設の閉鎖及び市民の利用控えにより、施設稼働率は、Web施設予約システム導入前の稼働率(平成30年度61.8%)に対し、令和2年度45.1%と減少する結果となった。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（3/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
情報提供 の充実	⑤ ホームページ等における情報発信の充実	月平均訪問者数 (人)	目標 154,500 人	新型コロナウイルス感染症関連情報や各種支援策、市の取組など、市民ニーズの高い情報を積極的に発信した結果、HP閲覧数は目標を大きく上回った。令和4年度にはHP管理システムの更新を予定し、更なる情報発信の充実を目指す。
			実績 349,879 人	
	⑥ オープンデータの推進と地図情報の活用	公開ファイル数の増加率(%)	目標 20%	職員を対象に研修を実施したこと等により、職員のオープンデータに対する理解度が深まり、令和2年度において公開ファイル数は目標を大きく上回っている。今後も取組を継続する。 平成30年度775件、令和2年度1,670件 公開型GISは、新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワークの推進等、優先度の高い案件への対応により、計画当初の2年遅れとなる令和4年度稼働に向けて準備を進めている。
			実績 115.48%	
		公開型GISの年間利用者数(人)	評価 期間前	
			-	

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（4/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
福祉 健康	⑦ 介護保険事務の 総合的な見直しと システムの再構築	業務削減 時間 (時間)	評価 期間前	介護保険の新システムは予定どおり令和3年1月に稼働済である。新システムでは、ノンカスタマイズでの構築、ブラックボックス化の解消、先端技術の導入を実現している。また、介護保険事務の総合的な見直しでは、業務再構築(BPR)を行ったうえで、令和3年10月より事務委託についても稼働済である。
			-	
	⑧ 健康増進支援の ためのシステム導 入	特定健診 受診率 (%)	目標 49.0%	特定検診等における電子申込への対応は完了しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関の受診控えや緊急事態宣言発令時に検診を中止したことで、目標を大きく下回る結果となった。癌などについては、発見が遅れると命の危険にも影響するため、今後も特定検診率向上に向けて、市民への周知活動を継続する。
			実績 37.8%	
		特定保健 指導実施 率 (%)	目標 65.0%	
			実績 35.4%	

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（5/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
福祉 健康	⑨ 情報共有できるシ ステム導入	システム利 用登録者 数（人）	評価 期間前 -	医療機関・介護サービス事業者関連の情報発信充実に向け、 けあプロ・naviの機能追加を令和2年度に予定していたが、 事業者側でのパッケージバージョンアップが進められている状況で、 バージョンアップの内容を確認のうえ検討が必要なため、令和 4年度以降の構築となる予定である。
子育て ・学び	⑩ 図書館資料の電 子化	地域資料 等のデジタ ル化点数 （点）	評価 期間前 -	令和3年7月「すいた電子図書館」を開設。 令和3年度9月末時点で839点の電子書籍を保有しており、 随時拡大していく予定である。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（6/10）

基本方針1：市民のためのサービスデザイン

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
子育て・学び	⑪ 入園事務支援のためのシステム再構築	最大待ち時間（分）	目標 30分	LINEを活用した窓口予約システムの導入により、予約をした市民は待ち時間無く案内が可能となった。また、予約無しで来た市民については、当日枠を30分間隔で設定し対応するようにした。これにより、一時離席して、案内時間まで別の用事を済ませることが可能となり、単純な待ち時間は大幅に減少した。また、内部事務においては、令和3年度にAI入所選考システムの導入を予定し、業務量削減を目指す。
			実績 15分	
		入所選考時間（時間）	評価 期間前	
			-	
	⑫ 小中学校のICT環境の充実	プロジェクター利用日数の割合（%）	目標 50%	職員・児童に1人1台相当のパソコン配備が完了し、プロジェクターを利用した授業実施数は目標達成している。GIGAスクール構想の実現に向けて、小中学校のICT環境の更なる充実を目指す。
			実績 88.9%	

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（7/10）

基本方針2：市民を守るICT

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
防災・ 防犯	⑬ 施設の I C T 環 境の充実	無線LAN アクセス回 数（回）	目標 3,000回 実績 4,991回	吹田市公衆無線LAN（Wi-Fi）整備方針に従い、避難所施設、講座の充実・地域コミュニティの発展を目的とした施設を中心に公衆無線LANの設置を進めている。令和2年度の目標は達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響で施設が臨時休館となったことで、令和2年度の公衆無線LANアクセス数は令和元年度を下回る結果となっている。 令和元年度：5,270回
	⑭ 災害時の情報収 集の強化	ドローン操 縦資格を 持つ職員 数（人）	目標 8人 実績 6人	災害時のドローン活用体制の構築を進める。新型コロナウイルス感染症で計画どおりにドローン操縦資格試験を受験できなかったため、資格の保有職員数は目標を下回っているが、災害時のみならず平時においてもドローンの活用が期待されることから、引続き職員の資格取得を進める。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（8/10）

基本方針2：市民を守るICT

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
防災・ 防犯	⑮ 街頭防犯カメラの 多目的利用の推 進	IoT防犯 カメラ設置 拠点数	評価 期間前 -	令和3年度から令和5年度にかけて、故障を検知するネットワーク機能を備えたカメラへの更新を進めている。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（8/10）

基本方針3：業務改善を支えるICT

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
内部事務 の最適化	⑯ 会議の効率化	ネットワー ク会議シス テム利用 延べ人数 (人)	評価 期間前 実績 2,124人	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年度から、リモート会議システムを臨時的に導入した。令和2年度の利用延べ人数は2,124人と今後目標としていた200人を大きく上回る結果となっている。令和3年度に新システムの導入を予定し、会議の効率化を目指す。
	⑰ 文書管理事務等 の電子化と効率化	文書の電 子化率 (%)	評価 期間前 -	文書管理システムの令和4年度稼働に向け、令和3年度中にシステム構築に着手予定。

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（9/10）

基本方針3：業務改善を支えるICT

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
内部事務 の最適化	⑮ 庁内ネットワークの 無線化	タブレット 端末利用 場所の無 線化の整 備率(%)	評価 期間前	庁内ネットワークの無線LAN設備を、議場をはじめとした議会運営施設や、庁内の主要な会議室等に設置完了している。
			実績 100%	
	⑯ 最新技術の活用と 調査研究	業務削減 時間（時 間）	目標 100時間	令和2年12月にAI議事録を導入した。業務量削減233時間は4か月間の実績であるが、令和2年度の目標を達成している。また、令和3年6月には、RPAの導入が7室課10業務で完了しており、令和4年度には複数業務でAI-OCR(※)の導入を目指している。 (※ AI-OCRとは、帳票等に印字、または手書きされた文字の読取りを行い、AIによる文字認識処理を用いてデータ化する機能及び機器(スキャナ等)のこと。)
			実績 233時間	

第4期情報化推進計画アクションプラン 目標及び進捗状況（10/10）

基本方針3：業務改善を支えるICT

取組	アクションプラン	評価指標	令和2年度 目標/実績	進捗状況
内部事務 の最適化	②⑩ 情報セキュリティの 強化	情報セキュ リティ研修 参加人数 (人)	目標 200人 実績 441人	情報セキュリティに関する研修メニューの充実及びeラーニングの活用により、受講者数は令和2年度目標を大きく上回っている。今後、デジタル社会が進展していくなか、情報セキュリティは、業務遂行において不可欠な視点であり、職員研修の更なる強化を図っていく。

【参考資料】

第4期情報化推進計画アクションプラン 5か年目標・実績（1/2）

取組	アクションプラン		評価指標	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
手続	①	手続の電子化	電子申込システム利用率(%)	目標	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%
				実績	30.4%	32.80%			
	②	コンビニエンスストア等での証明発行の拡充	課税証明書コンビニ発行割合(%)	目標		0.90%	1.10%	1.30%	1.50%
				実績		4.04%			
	③	納税者の利便性向上	電子納税件数（件）	目標	15,000件	36,000件	42,000件	56,000件	64,000件
				実績	1,267件	11,584件			
	④	We b施設予約システムの導入	施設稼働率の上昇率(%)	目標		10.0%	15.0%	20.0%	25.0%
				実績		▲16.68%			
情報発信	⑤	ホームページ等における情報発信の充実	月平均訪問者数（人）	目標	148,000人	154,500人	161,000人	167,500人	174,000人
				実績	234,964人	349,879人			
	⑥	オープンデータの推進と地図情報の活用	公開ファイル数の増加率(%)	目標	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%
				実績	96.3%	115.48%			
			公開型GISの年間利用者数（人）	目標			16,100人	16,750人	17,400人
				実績					
福祉・健康	⑦	介護保険事務の総合的な見直しとシステムの再構築	業務削減時間（時間）	目標			7,000時間	14,000時間	14,000時間
				実績					
	⑧	健康増進支援のためのシステム導入	特定健診受診率（%）	目標	48.0%	49.0%	50.0%	51.0%	52.0%
				実績	44.4%	37.8%			
			特定保健指導実施率（%）	目標	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%
				実績	40.7%	35.4%			
	⑨	情報共有できるシステム導入	システム利用登録者数（人）	目標			200人	500人	1,000人
				実績					

【参考資料】

第4期情報化推進計画アクションプラン 5か年目標・実績（2/2）

取組	アクションプラン		評価指標	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
子育て・学び	⑩	図書館資料の電子化	地域資料等のデジタル化件数（点）	目標			150点	300点	450点
				実績					
	⑪	入園事務支援のためのシステム再構築	最大待ち時間（分）	目標	90分	30分	15分以内	15分以内	15分以内
				実績	15分	15分			
			入所選考時間（時間）	目標			600時間	600時間	600時間
				実績					
	⑫	小中学校のＩＣＴ環境の充実	プロジェクター利用日数の割合（％）	目標	20.0％	50.0％	70.0％	90.0％	100.0％
				実績	71.4％	88.9％			
防災・防犯	⑬	施設のＩＣＴ環境の充実	無線LANアクセス回数（回）	目標	1,000回	3,000回	7,000回	10,000回	12,000回
				実績	5,270回	4,991回			
	⑭	災害時の情報収集の強化	ドローン操縦資格を持つ職員数（人）	目標	4人	8人	12人	16人	20人
				実績	4人	6人			
	⑮	街頭防犯カメラの多目的利用の推進	IoT防犯カメラ設置拠点数	目標					562拠点
				実績					
内部事務最適化	⑯	会議の効率化	ネットワーク会議システム延べ利用人数（回）	目標				100人	200人
				実績		2,124人			
	⑰	文書管理事務等の電子化と効率化	文書管理事務の電子化率（％）	目標				20.0％	30.0％
				実績					
	⑱	庁内ネットワークの無線化	タブレット端末利用場所の無線化率（％）	目標			80.0％	90.0％	100.0％
				実績					
	⑲	最新技術の活用と調査研究	業務削減時間（時間）	目標		100時間	100時間	100時間	100時間
				実績		233時間			
	⑳	情報セキュリティの強化	情報セキュリティ研修参加人数（人）	目標	200人	200人	200人	200人	200人
				実績	115人	441人			